

技術士だより

—(社)日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター秋季号<第29号>(平成8年9月15日発行)

◇巻頭言

現代社会のストレス解消法

青山 次貝リ (九州支部副支部長)

21世紀の入口にさしかかった今日、わが国を取り巻く社会情勢は、国際化、情報化、高齢化、さらには価値観の多様化などが急速に進んでおり、まさに「大変な時代」の到来と言われるかも知れない。

最近私の周辺でも、不眠、イライラ、頭痛などの症状、胃、腸、十二指腸の潰瘍といったストレス関連の疾患に悩まされている話をよく耳にする。又「彼は胃潰瘍だ、彼の職場はストレスが多いもんな」とか「あの仕事はストレスだ」とかストレスについての会話が聞かれる。

大人の2人に1人が精神的疲労を感じ、特に30代、40代では3人に2人がストレスを訴えていることが総理府の世論調査の結果で明らかになっている。現在はストレスの時代といわれている。

ストレスという言葉は、もともと工学用語で、外部からの力で生じる物体の「ひずみ」「ねじれ」の現象を指す言葉であるが、医学でいうストレスは、生体が外部からの刺激に対して、副腎のホルモン分泌を増し、それに対して生理の調和を保とうとする防御反応がストレスである。

例えば騒音であっても、家庭内の口論であっても、職場で重大な仕事を任されたことも刺激になる。また職場で重大な仕事を任せ「はりきって仕事をするこゝも」「重圧のあまり不眠に悩まされるこゝも」どちらも刺激に対する返応であり、ストレスとなる。

ところで、ストレスをなくするためにはどうしたらよいのか、私達が生きている以上、ストレスを避けて通ることはできない。むしろストレスにどう対処してゆくのが大切である。

最近、世界的に注目されているセリエ博士(元カナダ・モントリオール大学名誉教授)のストレス学説によると「精神的刺激(怒り、不安、苦痛、恐怖)いわゆる心労は、感情の中樞である間脳から脳下垂体を刺激して、ホルモン分泌がアンバランスになり、胃腸疾患など臓器障害をおこす」としている。さらにセリエ博士はストレスを解消するには「心の平静と穏やかな感情が大切である」と唱えている。又日本の貝原益軒翁はその養生訓の中で、養生の第1歩は「心気を養うことだ。心を平静に保ち、感情を乱さないことが、心気を養う重要な方法」と説いている。セリエ博士の説と同じである。

そこで考えられることは、人間には心と体の両面ある。健康を保つには「1万歩け運動」といった体の面からの訓練が指導されており、体と同じように心も鍛えれば、ストレスがあったときに過剰反応にならずにすむのではないかと思う。

又心理的ストレスは、文化や社会の価値観の中から生まれるもので、重い荷物も担いようでは軽くなる。担いやすいように工夫することがストレス解消法であり、自分の生活や心の運びを少し変えることでストレスに対する免疫力を高めることができる。

人間は何よりも自己保存という性質をもっており、そのためにストレスが避けられないといえる。その人間同士がお互いのストレスをよく理解し合い、思いやりをもって生活していくことが最も重要なストレス対策かもしれない。

1人でも多くの入会をお勧め下さい

↓ 私の提言

技術士会九州支部の活性化のために。

三原 節夫 (水道部門)

技術士(水道部門)に合格して早10年、そしてほぼ同時期に上下水道コンサルタントの会社に勤めて9年目を迎えた。私の専門である下水道は年々予算が伸びており、大都市の普及がほぼ完了し、現在は中小都市から町村へと急速に拡大している。そして又水資源としての処理水の再利用や環境問題等都市施設としてのニーズも多様化しており、これに対応する技術者の不足は深刻な問題となっている。

仕事の発注元は殆どが市町村であり、下水道事業団が一部受託されて、全国的に統括されてきたものの、計画設計の仕事では、全国津々浦々大小のコンサルタント会社が入り乱れ、この中には下水道の技術士がいない会社も多数あり、まさに戦国時代である。これに加え外圧等から契約制度が問い直されるなかで、コンサル業界に対する公正取引委員会の強い姿勢もあり、今後受託のあり方がどの様になっていくか見当がつかない状況である。

唯このなかで言えることは技術士の役割が益々重視されることは間違いなく、このような時期こそ技術士の地位の向上のチャンスであると考え。全国的に見て下水道の技術士は大都市の公務員の技術者と、上下水道コンサルタント会社の社員が大半である。そして、小さい町の計画でもローカルな条件が多くて画一的に計画出来ない仕事であり、今後コンサルタント会社の技術士はさらに貴重な存在になると思っている。

以上下水道と言う一側面から、そしてコンサル業の立場から私見を述べて見た。さて技術士会九州支部に於いても企業内技術士の参加促進は課題であるが、それぞれの会社の事情もあり必ずしも進んでいない。この様な時こそ充実した研修会や見学会の実施は参加の足がかりとして大事なことと思う。

第4部会ではMさん等の努力の成果で、着実に技術士会らしい研修会や見学会をここ何回かもつことが出来た。技術士会九州支部の活性化の為に若い中堅の技術士の方々の活躍を期待するものである。

日本技術士会近況

平成8年度 第1回支部長会議

水上 信照 (九州支部長)

- 1) 日時 平成8年6月18日(火)13:30~17:30
- 2) 場所 (社)日本技術士会 本部会議室
- 3) 担当 東北支部: 杉江
- 4) 出席 本部: 杉田、鈴木、館谷副会長、
保坂専務理事、谷嶋常務理事
支部: 佐々木(北海道)、中山(北陸)
中川(中部)、森川(近畿)、
泰(中四国)、水上(九州)

5) 議事内容

- ①技術士第二次試験前日の準備のための日当支給について (九州)
現在未支給に付、支給を要望する。
結論: 本部検討する: 平成8年度支給を実現した。
- ②技術士登録申請証明書の様式改訂について (九州)
官公庁勤務者用の様式を改訂されたい。
結論: 書式は、法令に規定されているの
(次ページにつづく)

(本部近況のつづき)

で簡単に改正できぬが検討する。
改正するとの報告があった。

- ③役員選挙制度改正の審議状況、選挙運動の禁止(第28条)削除について。(北海道、中四国)

結論:28条の削除はしない。改正は来年の選挙に間に合うよう9月理事会にて決定したい。

- ④地方公共団体職員との合同セミナーの実施予定について(中四国)

結論:平成8年度 北海道、北陸、中部
平成9年度 近畿、中四国、九州
平成10年度 東北、北海道、北陸

- ⑤継続審議中の支部運営費について(近畿)

結論:支部自立の為の還付金増額要請書を本部に提出する。

- ⑥北陸支部創立25周年記念行事について

9月18日新潟市において実施予定参会をお願いする。

- ⑦委員会委員に支部会員を選任すること。
(東北)

各部会、委員会の委員は殆ど、首都圏の会員で占められているので、地方支部の実状に疎く窮状に理解がない。各支部から委員の選出をお願いする。

結論:保坂専務理事:考慮するが、旅費予算の問題がある。

- ⑧次回支部長会議開催予定(第2回)

担当:北海道

日時:11月27日(水)

場所:洞爺湖

- ⑨第23回技術士全国大会の開催と協賛広告の募集について(神奈川県技術士会)

平成8年10月14日:於横浜市

技術士会九州支部・九州地方技術士センター

行事・会合などの報告

平成8年度 第1回合同役員会

(3)その他

以上

日 時 平成8年6月21日(金)13:00~16:00

場 所 福岡商工会議所604号

出席者 支部長外34名

欠席者 黒瀬顧問外20名

◇議題

- (1)平成8年度事業計画予定について
- (2)平成8年度常設委員会事業計画(案)について
- (3)平成8年度各地区事業計画(案)について
- (4)平成8年度各部会事業計画(案)について
- (5)平成8年度政策委員会事業計画(案)について
- (6)中・四国支部と九州支部合同セミナー(7/12,7/13)について
- (7)第1回科学技術セミナー(9/25)について
- (8)第24回技術士全国大会(平成9年度)準備委員会の具体的活動について

◇報告事項

- (1)本部動向について
- (2)支部長会議について

平成8年度 事業計画

(社)日本技術士会九州支部、九州地方技術士センターは、本部および各支部との情報交換を密にするとともに、会員相互の信頼と協調を基とし、会員の品位と実力を高め、技術士の活性化と社会的地位の向上発展を目指し、“魅力ある技術士会・活動する技術士会・躍進する技術士会”を構築することを基本方針として各事業を行う。

- (1)地域の振興に密着した技術士業務の充実強化と業務拡大に努める。
- (2)会員増強を進める……企業内技術士会(官公庁共)の組織化
- (3)支部およびセンターの連携を深め運営の充実を図る……(政策委員会の設置)
- (4)第24回技術士全国大会(平成9年度、於福岡)準備実行委員会
- (5)技術向上を目指した第1回科学技術セミナーを開催する

(次ページにつづく)

- (支部・センター 行事報告 つづき)
 発足 (9月25日(水)於福岡サンパレス)
 (6)九州支部およびセンターと中四国支部との合同研修会を行う。
 (7月12日(金)～13日(土))
 於 北九州プリンスホテル)
 (7)研修会、見学会を各地域別・各技術部門別に開催し活性化を図る。
 (8)社会情勢の変化に伴う新規分野に対処するための、指導業務開発に取り組む。
 (9)地域交流・海外交流を積極的にとり組む。
 (10)技術士補の育成を推進する。
 (11)技術士試験の実施に積極的に協力する。
 (12)九州地方技術士センターでは技術士育成を推進する。

☆平成8年度 各委員会事業計画

◇総務委員会

1. 会員増強運動の実施 (平成8年10月～平成9年3月) 特に大手企業内技術士の組織化を要請し入会の増強運動を進める。
2. 賛助会員、賛助広告の加入、募集運動の実施 (平成8年10月～9年3月)
3. 他委員会との連絡を密にし、協力に努める。
4. “技術士だより” “会員名簿” 作成のため編集委員会を随時開催する。
5. 事業委員会に協力し、沖縄県技術士会との交流を実施する。
6. 第24回技術士会全国大会の準備委員会を全面的にバックアップする。

◇事業委員会

1. (社)日本技術士会中四国、九州支部合同研修会 平成8年7月12日(金)～13日(土)
 (北九州プリンスホテル) 三菱化学黒崎工場、サニックス産廃プラント門司工場、門司レトロ
2. 第1回科学技術セミナー
 平成8年9月25日(水)福岡サンパレス
3. 第23回技術士会全国大会 大会テーマ
 “新たなパラダイム”
 平成8年10月14日(月)～18日(金)
 横浜ロイヤルパークホテルニッコー外
4. 第26回日韓技術士会議
 平成8年11月14日(木)～15日(金)
 於 松江市 (中四国支部担当)

◇試験管理委員会

1. 試験管理委員会 6月21日
2. “ ” 7月15日
3. 試験管理委員会と監督員の打合せ会議
 8月7日
4. “ ” 8月27日
5. 第1日目試験監督 8月28日
6. 第2日目 “ 8月29日
7. 第一次試験試験管理委員会 9月6日
8. “ ” 9月10日
9. 試験センター関係者、試験監督員及び事務局合同打合せ、試験監督 10月13日

試験管理委員会 委員構成名簿

氏名	役名	勤務先
齋藤健男	委員 委員	グリーン・コンサルタント(株)福岡新
是石俊文	委員 委員	(株)後藤組福岡支店
柚 辰雄	委員 委員	中央コンサルツ(株)
小松路代	委員	九州電技開発 (株)
高橋保夫	委員	西日本開発コンサルタント (株)
堤八恵子	委員	(株)アーバンデザインコンサルタント福岡事務所
服部弘政	委員	(株)九電工
政野光男	委員	—
矢野友一郎	委員	(株)計画技術コンサルタント
計	9名	—

◇センター育成委員会

1. 講座内容 (期日及びカリキュラム)
 - (1) 第1回講習会
 平成8年4月13日(土)9:00～17:00
 - ・午前 (集中講義)
 技術士制度及び受験対策研修法の基本的な考え方を解説
 - ・午後 (個別面談)
 選択科目別に出題意図と答案成の要点を解説並びに練習問題の提示

(次ページにつづく)

(支部・センター 行事報告 つづき)

(2) 第2回講習会(1日目)

平成8年6月15日(土)9:00~17:00

・午前(集中講義)

練習答案の添削結果と総合評価

・午後(個別面談)

個人別に添削結果について指導

(3) 第2回講習会(2日目)

平成8年6月22日(土)9:00~17:00

・終日(総合練習)

筆記試験の模擬練習(本番と同じ要領で実施)

(4) 第3回講習会

平成8年7月20日(土)9:00~17:00

・午前(集中講義)

受験直前対策及び答案作成について要点の解説

・午後(個別面談)

個人別に答案作成の要点を出題科目毎に指導

(5) 口頭試験対策講習会

平成8年11月16日(土) 9:00~17:00

会場 福岡商工会議所

◇センター研修委員会

1. 会員研修会及び忘年パーティ

期日 平成8年12月13日(金)13:00~19:00

会場 福岡市中央区渡辺通4-1-2

セントラルホテルフクオカ

電話 (092) 712-1212

2. 会員研修会及び合格者祝賀会

期日 平成9年2月22日(土)13:00~19:00

会場 福岡市博多区博多駅前4-11-18

博多パークホテル

電話 (092) 451-1151

講師未定

◇センター活性化委員会

1. 技術士及び技術士会の活性化に関する案件の情報収集(福岡地区にて、平成8年7月中旬開催)

2. 「新技術士抄録集」の応募と出版計画について(大分地区にて、平成8年10月中旬開催)

／ (1)九州各県の技術動向ビジョン編

(2)技術士の保有技術抄録編

(3)各部会の技術成果編

3. 技術士会の改革と活性化政策立案に関する事(熊本地区にて、平成9年1月中旬開催)

☆平成8年度 各地区事業計画

福岡地区

1. 地域の振興に密着した技術士業務の充実強化と業域拡大に努める。
2. (社)日本技術士会本部、支部、センターの活動に積極的に協力、参加し推進母体となるよう努力する。
3. 会員増強を強力に推進する。
4. Y C E福岡の活動を支援し、九州地区の青年技術士の活性化を進める。

北九州地区

1. 会員間の交流を深めるために地区例会を原則として毎月1回開催する。
2. 技術講演、見学会を通じ相互啓発を図る。
3. 国際協力事業団(JICA)北九州国際技術協力協会(KITA)が行う研修事業に研修機関構成員として積極的に参加する。
4. 北九州市融合化製品開発、システム支援事業、技術診断業務及び福岡県技術アドバイザー業務を行う。
5. 北九州商工会議所技術相談室の専門相談員を会として受託し、技術振興に協力する。
6. 北九州テクノセンターの中小企業総合相談事業にTS会(企業OB技術者で組織)を通じ参画する。
7. 事業活動主体を目指した小集団活動を展開する。(PL法対応相談事業他)

佐賀地区

1. 技術士への受験促進のPR
第一次、第二次試験、受験説明会
2. 関係機関への会員増強活動
(次ページにつづく)

(支部・センター 行事報告 つづき)

3. 他協会との講演会、研修会の共同主催及び講演会、研修会への積極的参加
4. 新合格者の祝賀会及び総会の開催

長崎地区

1. 支部及びセンターとの連携を深めると共に、県会員相互の団結と親睦を図る。
2. 県内技術士の入会者及び未入会者の名簿を作成して、未入会者の入会勧誘を行い、会員増強に努める。
3. 県会員名簿を官公庁及び県内の主な企業に配布して、技術士業務の理解と啓蒙に努める。
4. 県技術士会主催の講演会、研修会を行い、技術士活動状況についてマスコミの利用も図る。
5. 県内で実施される学会、講演会、研修会に積極的に協賛・後援を行い、技術士の社会的地位向上発展を目指す。

熊本地区

1. 地域の振興に密着した技術士業務の充実強化と業域の拡大に努める。
2. 会員の増強を進めるとともに会の組織及び運営の充実を図る。
3. 第一次、第二次試験受験案内及び説明会
4. 第7回セミナー 平成8年6月28日
有明海、不知火海湾岸道路(多目的潮受堤防)の計画構想について
5. 地域新エネルギーの利用シンポジウム
平成8年10月予定
6. 第8回セミナー 平成8年12月予定
7. 土木学会主催「土木の日」の事業支援活動

大分地区

1. 大分県の振興に密着した技術士業務の充実強化と業務の拡大に努める。
2. 会員の増強に努める。
3. 技術士及び技術士補の受験対策を強化する。
4. 青年技術士の活動を推進強化する。
5. 研修会、見学会を開催し、技術士の活性化を図る。

6. 技術士によるプロジェクトチームを編成して積極的に活動する。

宮崎地区

1. 会員相互の交流、懇親を深める。
2. 技術士PR、会員増強への積極的な取り組み。
3. 支部主催行事への積極的な参加。
4. 技術士補試験願書配布 平成8年4月15日
5. 宮崎県技術士総会、懇親会、ゴルフコンペ
平成8年5月30日
6. 「コンクリートセミナー」後援
平成8年7月29日
7. 現場見学会 平成8年10月
8. 「宮崎市都市景観賞」後援 平成8年11月
9. 「土木の日」共催 平成8年11月18日
10. 「宮崎県技術士会新年会・ゴルフコンペ」
平成9年2月
11. 技術士試験願書配布説明会 平成9年3月

鹿児島地区

技術士及び技術士補の社会的評価の向上と会員の親睦交流を重点目標とし下記の行事を行う。

1. 技術士会本部及び支部の事業活動に協力し、本会の目的達成を図る。
2. 会員名簿を作成し、会員及び関係諸機関に配布する。
3. 技術士にふさわしい内容の研修会及び講習会を単独或いは関係諸団体と合同で行う。
4. 青年部会の活性化に努める。(発会式7月6日) 技術士27名、補22名 計49名
5. 会員相互の親睦を図るため親睦会を開く。

☆平成8年度 各部会年次計画

1. 第一部会 会長 山谷三郎

1) 技術研修会

①第1回 平成8年9月28日(土)

13:30~17:00

講師2名 会後懇親会

(次ページにつづく)

(支部・センター 行事報告 つづき)

②第2回 平成9年2月8日(土)

13:30～17:00

講師2名 詳細未定

2)見学研修会

日時 平成8年11月7日(木)～

11月8日(金)

場所 三井造船(株)大分事業所外1泊2日

2. 第二部会 会長 帆足建八

1)猪野ダムの見学会(第4部会共催)

日時 平成8年7月16日(水)

2)横竹ダム、平岩トンネル研修見学及び世界&博覧会の見学

日時 平成8年8月2日(金)～3日(土)

1泊2日

宿泊地 武雄温泉ホテル春慶屋

3)技術研修講演会(事業委員会共催)

日時 平成8年10月11日 13:00～

場所 福岡サンパレス

3. 第三部会 会長 北原徳雄

1)技術講演会 平成8年10月上旬 詳細未定

2) " 平成9年1月中旬

3)工場見学 平成9年3月上旬

他部会との共催

4. 第四部会 会長 三原節夫

1)技術研修見学会 平成8年7月16日(水)

第二部会と共催

2) " 平成8年8月2日(金)

～3日(土)

第二部会と共催

3)講演会及び懇親会 平成8年9月

詳細未定

4)技術研修見学会 平成8年11月

福岡市下水道資源センター外

5. 第五部会 会長 岡部九州生

1)研修見学会

イ)平成8年11月上旬(1泊2日)

ロ)鹿児島県指宿市とその周辺の町

ハ)鹿児島県南薩地域に於ける畑地かん

がいの実施状況について

6. 第六部会 会長 芳賀三千億

1)見学会(第六部会と他部会共催)

イ)日時 平成8年10月4日(金)

ロ)場所

①日本鑄鍛鋼(株) 10:30～12:00

北九州市戸畑区先の浜

TEL 093-381-0531

新日鉄と三菱の共同出資の会社。

100トン電気炉。8,000トンのプレス。

超大型旋盤等を設備し、大型鑄鍛鋼品を製造している。

②新日本製鉄化学(株)九州製造所

1:00～2:30

北九州市戸畑区先の浜

TEL 093-884-1700

新日鉄の化成部門から分離独立した会社。石炭からコークスをつくり

だすプロセスで生まれる「コール

タール」と「コークス炉ガス」、

さらに溶鉱炉から生まれる「高炉

スラグ」などを最大限に利用して、

種々の化学製品をつくっている。

ハ)見学ご案内

①集合時刻と場所

10:15 JR鹿児島本線の「工大前」

駅付近

②見学要領

午前の「日本鑄鍛鋼」は構内徒歩

見学。午後の「新日本製鉄化学」

は「当社のQCサークル活動状況」

の説明後、自家用車にて工場見学

の後、解散。なお昼食は「工大前」

近くの「テクノセンター」にて。

③参加費

1,000円程度(自家用車提供者への

謝礼)

④申込要領

平成8年9月10日迄に九州支部事務

局に申込のこと。

申込先 TEL 092-771-9534

FAX 092-731-8274

◇中国四国・九州支部合同セミナー

甲斐 忠義(事業委員長)

日 時：平成8年7月12日及び13日

会 合：北九州プリンスホテル

見学対象：三菱化成熊本黒崎事業場、㈱サニックス産業廃棄物処理工場、
門司レトロ街作り事業

出席者：中四国支部……19名、九州支部……29名

この合同セミナーは中四国と九州で毎年交互に場所を移して行なわれ、本年度は九州であった。12日、三菱化成黒崎事業場に中四国支部、九州支部の総勢48名が参集した。長かった雨も上がり、工場見学には若干蒸し暑い中、映写による工場の概要説明と工場見学をさせて頂いた。同社は合繊原料・樹脂・機能化学品・医薬・炭素製品・農薬等の化学製品を製造しその数は2000余种にも及ぶ由、世界でも有数の総合化学メーカーである。敷地が330万㎡と広大でバスの中から見学させてもらったが、プロセス装置とパイプラインの連続で、何処をどう走ったか判らない状況であった。とにかく、沢山の製造設備とその製品があることを認識した。

会合は北九州プリンスホテルで懇親会形式で行なわれた。再開を祝し、新人紹介、十八番の披露等があり、最後には手品の競演となり皆が頭をひねる中、種明かしの伝授もあって非常に楽しい一時であった。

(株)サニックスはアメニティ＝ライフを目指し、害虫駆除・防臭消臭等を事業としているが、新たに産業廃棄物処理に進出したとのことで、13日バスにて日本最大級の産廃工場にお邪魔した。あいにく緊急整備で操業休止のため、停止中の設備を見学した。臭いを外部に漏らさないよう細かい配慮がなされ、操業中には臭いは無いそうである。最後に門司レトロ街作り事業をバスの中から見学した。明治時代の税関や三井家等の建物を集め、レトロ建築物の公園にしようと北九州市が力を入れている地域である。そして、来年中四国での再開を約して別れた。



◇第二・第四部会研修見学会（Ⅰ）
（猪野ダム、及び鳴瀬ダム見学会）

松田 研志（福岡 水道）

去る7月16日、第二部会と第四部会の合同で福岡県粕屋郡の猪野ダムと鳴瀬ダムの見学会を行いました。参加者は帆足第二部会長・三原第四部会長はじめ30余名でした。

猪野ダムでは能美課長より、鳴瀬ダムでは黒瀬課長よりダムの計画及び建設全体について説明していただきました。また、猪野ダム建設事務所の富重氏（本会会員）には見学会の最初から最後まで同行をお願いし、事前の説明や施設の案内をしていただきました。

猪野ダム・鳴瀬ダムは、おのこの多々良川水系の猪野川及び鳴瀬川に多目的ダムとして建設されるもので、多々良川総合開発の一環をなすものです。

・猪野ダム

本ダムは作業空間が狭いため、拡張レア工法を採用していました。平成9年度の完成を目指し、工事は現在のところ73%まで進行しています。

・鳴瀬ダム

本ダムは「地域に開かれたダム」事業の認定を受け、周辺の環境整備に力を入れています。

・ダム計画諸元

項 目	猪 野 ダ ム	鳴 瀬 ダ ム
集 水 面 積 (Km ²)	5.5	6.8
有効貯水量 (m ³)	4,910.000	4,160.000
水道用取水量 (m ³ /日)	33,500	22,000
ダム 堤 高 (m)	79.9	67.4
ダム堤 頂長 (m)	260	308

北部九州は水資源が乏しいため、会員の皆様のダムへの関心は非常に高いようです。暑い中、多数の方が参加されて、熱心な質問と議論が行なわれました。

最後にお世話になった両建設事務所の方々に心から御礼申し上げます。



◇第二・第四部会研修見学会(Ⅱ)

(横竹ダム、平谷トンネル及び世界炎の博覧会見学)

竹内 良治(第二部会幹事 北九州 建設・水道)

去る8月2、3日に帆足、三原両部会長、古賀事務局長をはじめ総勢20名で見学を行なった。

・横竹ダム

本ダムは佐賀県南西部を流れる塩田川の上流に建設されている重力式ダムである。このダムの特徴はダム本体周辺の止水グラウトだけでなくダムを支える地山に三本のトンネルを掘り、地山にも止水グラウトを施すものである。ダム建設は3K職場の代表と言われているが、グラウト注入制御は空調のきいた快適な屋内で行なわれていた。

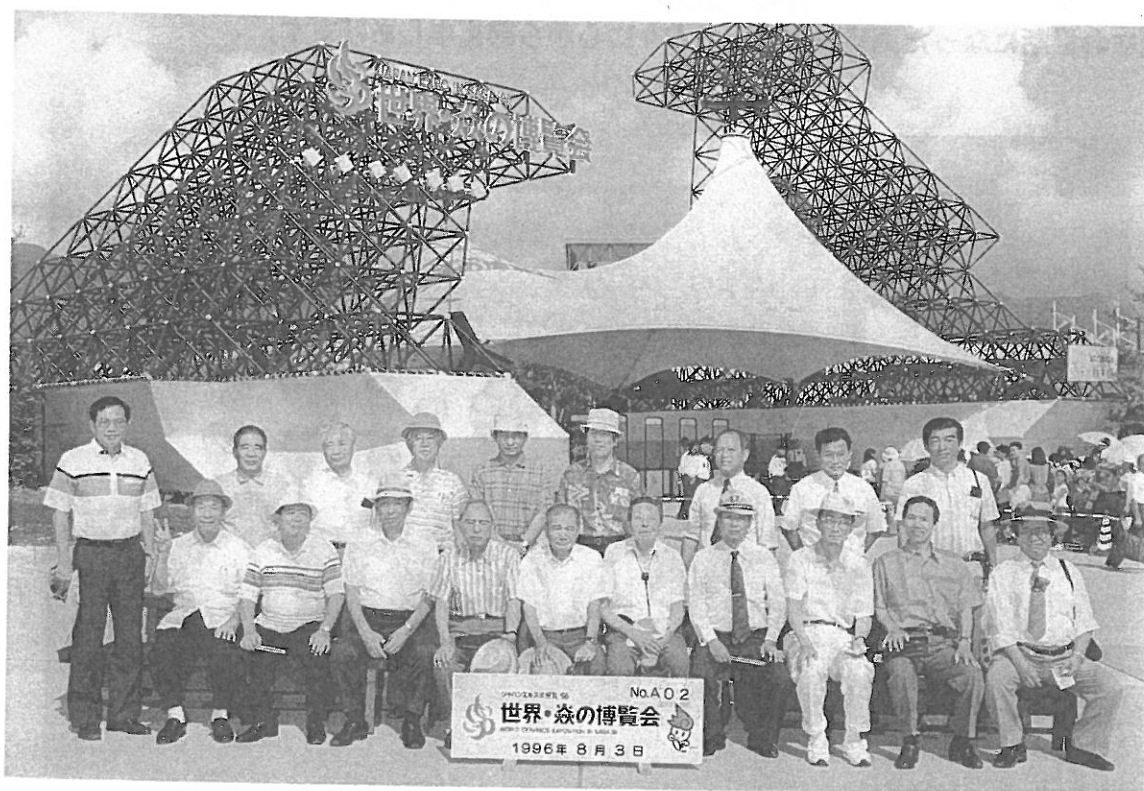
・平谷トンネル

本トンネルは佐賀県鹿島市と長崎県大村市を結ぶ国道444号線で経ヶ岳の北を貫通するものである。工法はもちろんNATMであり、すでに貫通していた。所長の説明によると、大量湧水は、一度だけで比較的順調に進行した。説明後、バスでトンネル内に入ると、入り口は覆工を終えており、次に覆工現場、防水シート敷設箇所、吹きつけコンクリートと順次見学出来た。

・世界炎の博覧会

翌日9時半、第一会場に到着。見学時間が2時間と短いため、当会場の目玉であるロボット磁器人形による浄瑠璃と磁器輸出時の藁(太陽エネルギー)を用いた梱包技術の実演を見た。第二会場は地域、時代にそった世界の焼物を展示していた。我国の縄文土器が世界最古である説が有力になっている中で西欧の焼物技術に注目した。予想どうり十四世紀後半にスペインを支配していたイスラムから導入しており、西欧の後進性を再認識した。

最後に武雄温泉春慶屋での懇親会、シーボルトが入浴した春慶楼の殿様風呂はすばらしかった。私にとって「水の旅」となったことに諸先輩に心から感謝いたします。



◇熊本県技術士会セミナー

林 博昭(熊本技術センター専務理事 熊本 農業)

有明海・八代海(不知火海)は、その背後に佐賀市、八代市を始めとする都市域と、肥沃なる干拓農業地域を育み、干潟とそれに連なる浅海域は貴重な漁場となっている。この有明海・八代海(不知火海)を、環境と調和していかに活用してゆくかが、九州圏域の経済的発展を図る上で重要な鍵となるわけであるが、一方では、このような有明海・八代海(不知火海)を、人と自然の古くからの交流の良いサンプルと位置づけして、エコ・ミュージアム(自然の博物館)として残そうとする動きもある。

フォーラム「有明の海と人」で小野勇一氏(日本学術会議会員・九州沖縄地区代表幹事)は、「原始の地球では浅海の干潟は生命誕生の舞台であったし、またその後は後生動物たちが海から陸へ進出するための舞台でもあった。「生きている泥」に住む有明海の動物たちの中にもその進化の姿をとどめているものを見ることが出来る。」と述べている。

この「泥が生きている」と言うことは、私ども土木に携わる技術者にとって、第一線潮受堤の沈下を進め老朽化を促し、将来予想される地球温暖化に伴う海面上昇や地震による液状化現象など、人間生活の基盤を脅かすものにしか映つらない。つまり、国土の管理へ視点がいつてしまうのである。そこで私どもが取り組む多目的潮受堤構想は、「環境と調和した持続的な開発は、これからの人間社会にとって必要不可欠である」との認識に立って、人々が海と親しみ、海的环境と馴染むような潮受堤に築堤し直して、いわゆる自然と共生を図るための学習の場として利用することを念頭におき研究を進めたいと考えている。

◇第一回活性化委員会開催

日 時：平成8年7月20日 10:00～13:00

場 所：福岡県中小企業振興センター

出席者：支部長外10名

議 題：

1. 技術士会の活性化に関する情報交換

- ・九州書県支部から活動の状況報告があった。それぞれ悩みをかかえながら方向を模索しているが、特に、人数が最も多い建設部門の技術士にどう参加してもらうか(大多数は企業に所属しているため、技術士会に参加する必要性が薄い)が共通の悩みである。
- ・また、若手中心の青年技術士会を発足させたところもあった。
- ・北九州の活動は、相対的にみると活発だと言う評価であった。

2. 新技術抄録集の発行について

- ・平成9年度福岡市で開催される予定の日本技術士会全国大会に向けて、新しい「技術抄録集」を作成する。

①各県の技術動向ビジョン ②各技術士の保有技術抄録 ③各部会の活動報告 等々

- ・特に②については全会員に原稿を依頼するので積極的な投稿をお願いしたい。

技術研修セミナー(11/10)へ参加のお願い

会員の皆様にご案内しました表題のセミナーは、当会員以外に各種後援・協賛団体所属の一般の方達にも参加して貰うものです。技術士を囲んだ懇談会も企画して来秋の全国大会の準備も兼ねると共に、広く世間へ技術士をPRする絶好の機会と思われます。知人・友人や職場の同僚の方にも多数お誘い頂き、ふるってご参加下さるようお願いします。

(全国大会準備委員会)

会員だより

随想

◇韓国での顧問生活を終えて

高橋 興一(北九州 金属)

暑中お見舞い申し上げます。皆様その後ご健勝にてご活躍のことと拝察致します。さて、私こと平成元年9月に韓国三星重工業鋳造工場の技術顧問として招聘を受け、当初は1年の予定で訪韓致しましたが、その後、年毎に期間延長の申出があり、結果として約7年間を顧問として勤務致し、この6月末の契約期間満了を機にその職を辞することにして帰国致しました。

顧みれば長期にわたり異国において恙無くその任務を全うすることが出来たことは、現地の方々や皆様のご支援とご協力の賜と心から厚く御礼申し上げます。また一昨年でしたか、皆様の韓国研修旅行の際に日程を割いて、私の勤務する工場を見学して頂き有難うございました。何かの参考になりましたら幸いです。

近いとは申せ風俗・習慣並びに言語の異なる異国に居を構えての生活は、過去に韓国中小企業振興公団の招きによりまして2年間にわたり多くの短期滞在の経験はしていましたが、その場合と違って日常生活の全てを自分独りで行わなければならず、先ずは会話が出来ないだけに当初は苦勞も多く、正直な処1年間継続出来るのかと言う不安が有りました。しかし、幸いにも現地の皆さんや会社の皆さんに親切にして頂き、暖かい心遣いの中で少しずつ言葉も覚え、風習や環境及び会社慣れて来るに従って自己の生活の範囲も広がり、違和感もなくなり、すっかり定着することが出来るようになりました。今では現地の生活にも不思議なことに懐かしさを感じています。また、日本にいては得ることが出来ないと思われる多くの経験や知識を学ぶことが出来たし、人間としての考え方を教えられて本当に幸せだったと思っています。

赴任当時は“技術に国境なし”と言う気持でしたが国によって技術者の考え方、作業の進め方、仕事への取り組み方に独自のものがあり、結局は私が日本人であると言う本質は変わらないとしても、如何にして会社の経営方針を理解し、皆の進め方を活かしつつ仕事に従事し、自分もまた韓国の生活に溶け込み、皆に仲間意識を持って貰うかと言うことを念頭において、現場で共に汗を流しながらAdvice業務を進めて参りました。結果としてはこれが報いられたのではないかと考えています。

私の好きな韓国の諺に、

가는 말이 고와야, 오는 말이 곱다.
カ ムン マル イ コワ ヤ, オ ムン マル イ コム ダ

と言うのが有ります。これは直訳しますと、「行く言葉が美しければこそ、帰って来る言葉も美しくなる」と言う意味ですが、心の問題を表わしていると思います。このことは韓国だけでなく日本でも世界でも通用する事柄と考えています。

現在の韓国の状況は新聞やTVで皆さんは既にご承知のことと思いますが昨年は9%、今年は約7%の経済成長が期待されています。国民の生活も年々豊かさが増してきて、日韓両国で開催する2000年のWorld Cup開催時には少なくとも表面的には差がなくなると思います。今は円が昨年よりも急に大きく下がったために、日本と輸出で競合する業種は苦しいようです。また、インフレ傾向も見られます。しかし、若い人々の国造りにかける気持には活力が感じさせられました。

今後はAsiaの仲間として、共に協力しながらGlobalな立場で将来の発展を願って行くことが期待されます。

私もまた再び皆様の仲間に入れて頂きたいと思っていますが、なにしろ7年間を異国で過ごして参りましたので細かい問題ではすっかり疎かになっていると思います。今後皆様のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

これからは厳しい暑さが続くと思いますので、皆様くれぐれも御身ご自愛の上ご活躍をお祈り致します。

先ずは取り敢えずご挨拶まで。

報告

◇福岡市役所技術士会の動き

川田 博見(福岡市下水道局 福岡 水道・建設)

1. はじめに(組織と活動状況)

福岡市役所技術士会は、市職員を経験した技術士試験の合格者を対象に、現在、技術士34名(うち現職20名、OB14名)、技術士補1名を加えた計35名で組織している。本会の活動は、会員並びに市技術職員の技術力の向上、会員相互の技術情報交換及び親睦を主な目的とし、年に1回程度の総会と、会員の所属する各職場において、新規合格者確保のための研修等が実施されている。

2. 合格者の傾向

最近の本市職員の合格者は、平成に入り、この7年間に18名の合格者を出している。部門別には、建設部門のほか、水道部門、電気部門の台頭が著しい。ある職場で合格者が出ると、先輩のアドバイスが良いのか、連鎖的に合格者を出す傾向が見られる。

3. 技術士受験者拡大について

本会員の現職、OBを問わず土木、水道、下水道、交通などのインフラ整備をはじめ各職場において行政的或いは技術的な立場で、リーダー的な役割を果たしている。一方、技術士の役割の一つに、時代を担う技術者を育成することも大きく数えられる。このため、先輩技術士としての役目として、意欲のある人を「たきつけ、受験への自信を持たせ、合格のノウハウを伝授し」身近な人の合格により、受験に対する安心感やライバル意識を植えつけることが必要であらう。

4. おわりに

21世紀を目前に控え、高齢化社会の到来と厳しい財源確保の見通しのなか、安全、安心、うるおい、ゆとりと言ったキーワードの下、優良な社会基盤施設の創造と明日を担う人材育成のため、さらには市民の信頼を得られる技術者集団として福岡市役所技術士会も微力ながら努力していきたい。

会員よりの手紙

◇ウルグアイ通信

讃井 友規(福岡 水産)

残暑お見舞い致します。

拝啓 お元気でお過ごしのことと拝察致しております。福岡を離れて当地ウルグアイ=モンテビデオにて7ヵ月が過ぎました。元気に過ごしていますので他事ながらご安心下さい。本年は貴地はとても暑く、また台風も早いとかで(NHK国再放送によって)何かと大変なことでありましょう。

こちらで私は、ウルグアイ共和国大学獣医学部水産研究所で学生諸君のセミナーを担当しています。あと半年(1997年1月)で帰国する予定であります。

モンテビデオはリゾート地で、西欧的な雰囲気の人々は穏和な気風です。とても良い国と思っています。では、お元気でお過ごし下さい。

敬具

九州地方技術士センター会員 殿

Tomonori SANUI

Embajada del Japon(日本大使館)

Bva Artigas 953

MONTEVIDEO, URUGAY

◇九州地方技術士センター入会にあたって

清水 清(北九州 衛生工学)

1. はじめに

私は昨年度の2次試験に合格し3月に登録を済ませ、この度本センターに入会させて頂きました。そこで、受験を振り返って体験したこと等をまとめてみました。

2. 技術士試験とは

技術士試験は非常に難しいと言われておりますが、今考えてみますと以下の理由からそれほど難しい試験ではないと思います。

1)自分の専門とする技術部門で受験するので、新たに技術的な勉強は必要としない。

2)試験問題の傾向は分かっている。

・選択科目Ⅰ-1(体験業績)は自分の行なったことについて記述するので、新たに何かを考案したり付け加えたりする必要はない。

・選択科目Ⅰ-2(選択専門)は自分が選択した科目なので、業務上の関連も深く解答し易い。

・必須科目Ⅱ(必須専門)も自分の専門の選択科目を中心に、事前に構想を練り準備出来る。

即ち、技術士試験とは「技術士として必要な高等な専門的応用能力」を有している人が、限られた時間内にその事を明瞭に表現出来れば合格する試験であると考えます。

3. 受験勉強のポイント

本センターの育成講座で効果的な勉強の仕方を教わり、その内容を信じて実行したことが合格につながり、それが受験勉強のポイントであったと思います。即ち、

1)絶対に合格するぞと言う強い信念を持ったこと

2)自分なりに工夫して効果的に勉強を行ない、最後まで諦めなかったこと

3)体験業績、選択専門、必須専門問題に対しバランス良く勉強したこと

4)「技術士とは？」と言うことを、常に頭において取り組んだこと

5)筆記試験であるから試験官が理解し易い文章を早く書ける能力を養ったこと 等々です。

4. 受験への努力

先ず、私は勉強時間を作るため次の様な努力をしました。

1)土日はゴルフ等は止め勉強優先

2)平日は早朝5:30~8:30まで約3時間勉強

3)連休や盆休みは丸々取得し集中的に勉強

そして関連情報を収集するため日刊工業新聞を購読すると共に書籍類も読破しました。

5. 筆記試験を終えて

平成7年度の衛生工学の問題は下記の如く前年度と大差なく(試験の性格上基本的には毎年同じはず)、受験勉強を十分活かすことが出来ました。

1)午前中の体験業績問題は前年度の「失敗例・成功例各1例」が、「技術士にふさわしい業務1例の記述」となりましたが、成功例を引き延ばす練習をしておいたので、解答用紙の最後の1行まで記述出来ました。

2)午後の必須専門問題は2問中1問を選択する形式でしたが、1問は前年度とほぼ同じ「環境を考慮した都市作りの現状と課題」であり、準備していた解答を微修正することで解答用紙の約90%を記述出来ました。

3)最後に選択専門問題に取り組んだが、10問中2問の選択でありほぼ準備していた内容で、目標の解答用紙の約80%以上を記述出来ました。

7. 終わりに

一昨年迄とても無理だと思っていた技術士の試験に、一回で合格出来たので大変嬉しく思っております。しかし、資格を取っただけでは何もならず、「科学技術の向上と国民経済の発展に貢献する」ことが大事であり、一層の努力を重ねて行きたいと思っております。

どうぞよろしくご指導のほどをお願い致します。

会員ニュース

☆日本技術士会（九州支部）入会

- | (地区) | (区分) | (氏名) | (部門) | (連絡先/勤務先-下段) |
|------|------|-------|-------|--|
| 北九州 | 正員 | 本山 彰彦 | 建設 | 800-02 北九州市小倉南区中曽根東 1-6-14 ☎(093) 471-3559
勤務先: JR九州コンサルタンツ☎(092) 413-1020/Fx (092) 413-1022 |
| 大分 | 〃 | 吉良 信輝 | 資源工学 | 879-74 津久見市大字上青江 5889 ☎(0972) 82-9428
勤務先: ㈱戸高鉱業社 ☎(0972) 82-6111/Fx (0972) 82-3349 |
| 北九州 | 幹員 | 永岩 広幸 | 機械 | 800-03 福・京都郡苅田町神田1-22-7シーボルト09-509☎(093) 434-0999
勤務先: 東陶機器☎(093) 951-2595 |
| 福岡 | 正員 | 小野 透 | 建設 | 810 福岡市中央区小笹 1-18-12-401 ☎(092) 524-4732
勤務先: ㈱パスコ 福岡支社 ☎(092) 472-3521/Fx (092) 472-5328 |
| 福岡 | 〃 | 鶴岡 達夫 | 建設 | 813 福岡市東区水谷 2-7-4-301 ☎(092) 662-5201
勤務先: JR九州コンサルタンツ☎(092) 413-1020/Fx (092) 413-1022 |
| 宮崎 | 〃 | 河野 敏郎 | 建設 | 880 宮崎市江平西 1-5-11 江平ビル302 ☎(0985) 31-2527
勤務先: ㈱シンクタンク 宮崎 ☎(0985) 22-0087/Fx (0985) 22-0075 |
| 大分 | 〃 | 佐藤 光雄 | 建設 | 870 大分市上野丘 2-1-7 ☎(0975) 43-4090
勤務先: ㈱佐藤組 ☎(0975) 34-8161/Fx (0975) 32-2158 |
| 熊本 | 〃 | 福重 治雄 | 林業 | 860 熊本市清水町兎谷 360-173 ☎(096) 339-8708
勤務先: ㈱林業土木コンサルツ熊本支所☎(096) 354-1833/Fx (096) 359-0580 |
| 福岡 | 〃 | 佐々木 実 | 建設 | 819 福岡市西区姪浜町 39-502 ☎(092) 883-8930
勤務先: ㈱R&A 九州事務所 ☎(092) 715-1686/Fx (092) 715-6734 |
| 長崎 | 〃 | 桐原 敏 | 建設 | 858 佐世保市棚方町 659-13 ☎(0956) 47-5725
勤務先: 大栄開発☎(0956) 31-9358/Fx (0956) 32-2711 |
| 福岡 | 幹員 | 曾根 好則 | 建設 | 814-01 福岡市城南区荒江 1-28-6
勤務先: 曾根設計 ☎(092) 823-1496 |
| 福岡 | 〃 | 浜田 裕司 | 経営工学 | 812 福岡市博多区博多駅南3-15-30-1305
勤務先: システムワイズ ☎(092) 471-6479 |
| 福岡 | 正員 | 村上 健 | 建設 | 812-32 福岡県宗像郡福岡町光陽台 3-2-14 ☎(0940) 42-7550
勤務先: ㈱千代田コンサルト 九州支店☎(092) 271-5771/Fx (092) 272-1549 |
| 福岡 | 〃 | 宮部 康二 | 電気・電子 | 822 直方市山部 491-13 ☎(09492) 2-6564
勤務先: 東光電気工事☎(092) 522-2111 |
| 熊本 | 〃 | 山本 祐司 | 建設 | 860 熊本市池田 4-16-16
勤務先: 山本建設☎(096) 354-5353/Fx (096) 359-1956 |
| 北九州 | 〃 | 沖部 俊昭 | 経営工学 | 807 北九州市八幡西区日吉台 2-18-28
勤務先: OK技術士・労働安全コンサルタント事務所☎(093) 602-4728 |

☆九州地方技術士センター入会

- | (地区) | (区分) | (氏名) | (部門) | (連絡先/勤務先-下段) |
|------|------|-------|------|---|
| 福岡 | 正員 | 豊福 俊泰 | 建設 | 813 福岡市東区香椎駅前1-24-37☎(092) 671-0871/
Fx (093) 671-2301
勤務先: 九州産業大学工学部土木工学科☎(092) 673-5678/Fx (092) 673-5699 |
| 鹿児島 | 〃 | 春成 正 | 建設 | 891-01 鹿児島市東谷山 3-10-15 ☎(099) 268-2576
勤務先: ㈱日峰測地 ☎(0993) 77-2176 |
| 佐賀 | 〃 | 森田 昭廣 | 建設 | 842-02 佐賀県三養基郡基山町中谷台 3-15-1 ☎(0942) 92-3941
勤務先: 九州地方建設局 企画部 ☎(092) 471-6331/Fx (092) 476-3465 |

☆日本技術士会（九州支部）退会

(地区)	(区分)	(氏 名)	(技術部門)
福岡	正組	松井 章雄	建設
福岡	"	柳瀬 龍二	衛生工学
福岡	"	黒川 邦夫	建設
熊本	"	山口 進吾	建設
長崎	"	八村 智明	湖沼/林業

☆九州地方技術士センター退会

(地区)	(区分)	(氏 名)	(技術部門)
福岡	正組	梁田 信河	建設
福岡	幹組	稲垣 裕	建設
佐賀	正組	山本 修	建設
中四国	"	岸和田 侑	建設

☆会員連絡先（住所）及び勤務先変更

(会員名/技術部門)	(変更)	(変 更 内 容)
㈱久永コンサルタント [賛助会員]	住 所	890 鹿児島市伊敷町 7022-2 伊敷ニュータウン34 街区2号 ☎(099) 228-6600/Fx (099) 228-6601
川野 宏平 農 業	勤務先	870 大分市今津留3-5-15最勝アパート ㈱弓場水工コンサルタント 大分支店 ☎(0975) 58-8122/Fx (0975) 51-1337
柏原 公二郎 応用理学	勤務先	859-32佐世保市広田3丁目 16-16 柏原地質研究所 ☎/Fx (0956) 38-6576夜間 (0956) 31-1126
梅野 倫之 建設	連絡先	811-31福岡県粕屋郡古賀町花見東7-11-7 Fx (092) 944-3772
	勤務先	Fx (092) 593-5091
長崎 達也 建設	連絡先	861-41熊本市幸田2丁目 10-3
進 有三 水道	連絡先	819 福岡市西区下山門4-13-48 第一幸陽ビル 402号 ☎(092) 883-3633
富永 和夫 農 業	勤務先	890 鹿児島市伊敷町 7022-2 伊敷ニュータウン 34街区2号 ㈱久永コンサルタント☎(099) 228-6600/Fx (099) 228-6601
長 孝良 衛生工学	勤務先	802 北九州市小倉北区米町 新小倉ビル ㈱九電工北九州支店 空調技術部設備課 ☎(093) 541-8309/Fx (093) 531-8573
若松 昭彦 建設	連絡先	889-16宮崎県宮崎郡清武町 大字船引 字下の原 1037-1 道路公団清武作業所 ☎(0985) 84-2926
甲斐 章人 経営工学	勤務先	731-43広島県安芸郡坂町 10680 広島女子商業短期大学 教授 ☎(082) 884-1212/Fx (082) 884-0600
森 繁徳 水道	勤務先	892 鹿児島市下荒田町 3-29-10 中央テクノ㈱ ☎(099) 252-2424/Fx (099) 258-0253
四元 節夫 農 業	連絡先	890 鹿児島市鷹師 2-3-2 ㈱佐多測量設計 ☎(099) 250-7360/Fx (099) 250-7380
柳井 高弘 建設	連絡先	816 春日市下白水 237-3
	勤務先	812 福岡市博多区博多駅南 4-16-2 岡本ビル 大栄開発㈱ 福岡支店 ☎(092) 411-1808
恒松 道信 建設	勤務先	812 福岡市博多区奈良屋町 2-1 博多蔵本東邦生命ビル ㈱東京建設コンサルタント九州支店 ☎(092) 262-7311/ Fx (092) 262-7317
堀川 光治	"	" " " "
片山 宗法	"	" " " "
桑原 洋一	"	" " " "
宮崎 正和	"	" " " "

☆会員連絡先及び勤務先変更（続き）

（会員名／技術部門）	（変更）	（変更内容）
中山 法親	農業 勤務先 880	宮崎市別府町 3-1 ㊟宮崎県公衆衛生センター 常務理事 ☎(0985) 24-7400/Fx (0985) 24-8588
真鍋 和義	水道 勤務先 819	福岡市西区埴十六町 1191 福岡市環境局施設部西部工場 廃棄物試験研究センター☎(092) 891-3433/Fx (092) 892-1001
税所 篤志	建設 (社名変更) 890	鹿児島市新栄町 26-6 ㊟アーステクノ ☎(099) 256-5167/Fx (099) 256-0533
西田 湊	水道 勤務先 895	川内市平佐町 2416 新和技術コンサルタント㊟ 取締役 ☎(0996) 25-3155/Fx (0996) 23-5333
清水 透	建設 勤務先 874	別府市鶴見 2881-95 トーアテクノス㊟ ☎(0977) 23-5781
内田 芳郎	水道 勤務先 803	北九州市小倉北区室町 2-11-19 有豊ビル 5F. 北九州テクノリサーチ㊟☎(093) 561-2871/Fx (093) 561-8303
山田 好之助	応用理学 勤務先 880	宮崎市宮田町 3-34 藤永地建㊟ ☎(0985) 25-2686
中野 徳	建設 勤務先 812	福岡市東区馬出 1-11-11 ㊟福岡土地区画整理協会 西日本支部 ☎(092) 632-7900/Fx (092) 632-7892
佐々木 安治	水道 勤務先 812	福岡市博多区住吉 1-2-25 キャナルシティ・ビジネスセンタービル 7F. ㊟九電工福岡支店技術部設備課☎(092) 272-5130/Fx (092) 272-5191
岩本 政志	建設 連絡先 819-11	前原市波多江 723-2 シテイライフ波多江駅前 II-603 ☎(092) 324-8745
柴田 美寛	建設 勤務先 819	福岡市西区福重 4-4-1 西日本開発㊟ 福岡支店企画室 ☎(092) 885-5601
吉岡 淳	船舶 連絡先 813	福岡市東区馬出 5-16-10 ☎(092) 641-3628
	勤務先	㊟日本海事協会大連事務所
政野 光男	建設 勤務先 812	福岡市博多区店屋 6-28-3F ㊟西部技術コンサルタント ☎(092) 291-8251
西田 武	建設 勤務先 815	福岡市南区大楠 1-33-14 前田ビル エイコー・コンサルタンツ㊟☎(092) 522-1814/Fx (092) 522-1067
野田 健二	" "	" "
川崎 迪一	建設 勤務先 815	福岡市博多区麦野 6-4-19 ㊟MKコンサルタント ☎(092) 573-2777/Fx (092) 573-9042
大内 光徳	建設 連絡先 742	柳井市柳井 379-3 ☎(0820) 23-5436
中村 哲也	建設 連絡先 811-02	福岡市東区和白東1丁目1番1号-801 ☎(092) 607-3054
高井 一也	化学 連絡先 860	熊本市清水町新地 2110-11

— 受付順、敬称略 —

訂正とお詫び

前号(第28号、平成8年6月15日発行)9ページ、声の広場 地区活性化だより“来た九州この1年の歩み”の執筆者、江畑賢一氏の技術部門を化学としたのは、応用理学の誤りです。以上、お詫びしますとともにご訂正下さいますようお願いいたします。

◇会誌“技術士”最近号の主要目次

☆7月号

・巻頭言

デジタル時代に向けて / 都丸 徳治

・今年の日本農芸化学大会

からの話題紹介 / 平井 輝生

・中小企業病の克服と事例

/ 荒野 喆也

☆8月号

・巻頭言

ドイツで出想う / 村林 眞行

・生産工場における

「工場保全と生産技術」 / 是枝 龍三郎

・カオス・フラクタルの

技術分野への応用性について / 岡 孝夫、外

・近代的なまぐろ延縄漁船用

船員室の提案 / 福谷 光雄

☆9月号

・巻頭言

・これからの繊維技術

/ 野瀬 恭平

ミニ特集<繊維技術>

・高機能・高性能繊維

/ 片岡 章

・繊維強化複合材料

/ 福多 健二

★投稿を募集します★

技術研究論文・技術士の主張・賛助会員会社の紹介など、技術的なことは勿論のこと会員の受賞などのニュースもお願いします。積極的な皆さんの投稿をお待ちしています。原稿は20字×10行=200字詰原稿用紙に2～3枚程度を目安に、支部事務局宛て送付下さい。原稿用紙は事務局に備え付けてあります。

編集後記

- ・平成8年度の技術士第二次試験も終わりました。汗で答案用紙をベタベタにした昔が想い出されます。受験生の皆さんの幸運を祈ります。
- ・9月に入って急に秋らしくなりました。仕事に、スポーツに全力投球できる環境が整いました。後は本人のやる気次第。
- ・今回より「技術士だより」の編集委員の一人に加えて頂きました。微力ながら頑張りますので宜しく。(田中：経営工学)

発行：(株)日本技術士会 九州支部
九州地方技術士センター
〒810 福岡市中央区大名1丁目
12-61 新天ビル 402号
☎ (092) 771-9534
FAX (092) 731-8274
編集：九州支部・総務委員会